

## 2013年度看護系大学の教育等に関する実態調査

No.	日付	設問	質問内容	回答
1	11月10日	Q2	2014年度開設の大学ですので、3年次編入の制度はありますが、1. か3. どちらで回答したらよいでしょうか。	「ある」とお答えいただき、人数はゼロ記入をお願いします。
2	11月17日	Q4	英語や体育等の教養科目を担当している教員の数につきましては、他学部を含めた大学全体での一般教養科目の教員数(必ずしも看護学部の学生だけを担当するわけではない)でよろしいでしょうか？	ホームページの会員名簿に載っている教員を対象をお願いします
3	11月28日	Q4	本学部では産休・育休に入った助手の代替として就任した助手が数名おります。【全教員数】は代替助手も含めると定員を超過するため、【未充足数】と一致しない人数となってしまいます。定員数を入力する欄がないため、回答上ではわかりませんが、毎年度の回答を比較し定員数を計算した場合、定員人数が毎年異なってしまうと思いますが、どのように入力した方がよろしいでしょうか。	一番簡単な回答は、日本看護系大学協議会の名簿に掲載される教員でお考え下さい。つまり、代替教員はカウントなされないようにお願いします。あくまでも、代替なので、正規教員の方をカウントの対象としてください。両方をカウントしないようお願いいたします。
4	12月5日	Q4	Q4の教員数ですが、合計の欄に未充足数が含まれているようですが、このままでよろしいですか？	ご指摘の部分、当方の誤りです。これに関してはホームページ上において、その対応について記載(質問内容5番で回答)しましたのでご確認ください。
5	12月1日	Q4、Q5、Q6	Q6の下に『Q4～6の太枠「看護教員」の合計人数は必ず一致させてください』とあります。こちらなのですが、合計人数はすべての中で自動計算されるように設定されており、Q4では、⑧未充足数を入力すると、①合計が未充足数に集計されるように設定されているようです。しかし、Q5以降は、未充足数を入力する項目がないので、Q4～6の人数を一致させることができません。もし、未充足数を入力する場合は、どのようにしたらよろしいか、ご指示ください。	Q4の合計値の自動計算に不具合がございます(本来であれば①～⑦の合計であり、未充足数の⑧は合計値には入れません。お詫びして訂正いたします。12月2日の14時頃にプログラムを修正しましたので、もしお手数であればダウンロードしなおしてください。すでにそれ以前に提出済または回答を始めている会員校様は、Q5とQ6の合計値が一致していることとしてご理解いただき、集計時に未充足分を含まない集計値に修正を行います。
6	12月8日	Q5、6、21	文科省のアンケート等では助手は教員に入っていなかったと思うのですが、今回の調査では助手を含めてよろしいでしょうか？	項目欄に設けましたように、助手も教員の人数に含めてカウントください。
7	12月8日	Q10	本学の場合『平日昼夜開講』となっております。該当する項目がないのですが、回答はどうすればよろしいでしょうか。	今回の調査は、昼間のみか夜間開講もしているかで比較したいと考えますので、3番の両方開講で処理をお願いします。
8	11月28日	Q13	Q13の「全在学学生数」は、休学者数を含めて計上することになりますか？	休学者も含んでカウントください。休学者も在学者と考える立場で集計したいと考えています。
9	12月5日	Q15	看護系の学部・学科、大学院の卒業・修了状況を教えてください。とあり、卒業時の資格取得区分に看護師・保健師・助産師・養護教諭1種とあります。本学では、助産師資格取得は専攻科となっており、学部でも大学院でもございません。設問はあくまで学部・大学院とのカテゴリーとなっておりますので、0としてよろしいでしょうか。	同じ組織内教員が専攻科で養成を行っている教育については院卒相当とみなし、カウントしていただきたくお願いします。
10	11月18日	Q16	県庁に就職し、保健師としての採用ではあるが、必ずしも保健所勤務でない場合も「保健所・市町村・検診センター」よろしいでしょうか？	保健所は県庁職員の範疇なので、保健所ではなくて保健所(県庁職員含む)をお願いします。
11	12月17日	Q16	2014年3月の時点で、就職も進学もしていない学生については数に入れなくてよいのでしょうか？それとも、就職者及び進学者どちらかのその他に属する形で入力するのでしょうか？	その他に入力をお願いします。

# 2013年度看護系大学の教育等に関する実態調査

No.	日付	設問	質問内容	回答
12	11月11日	Q17	研究活動に関する表の中で取得件数欄、申請件数2012年11月、採択件数2013年4月とあるのですが申請件数2013年11月、採択件数2014年4月でしょうか・・・。	2013年度からスタートする科研補助金が対象ですので、2012年の秋に申請したもので2013年4月に採択が決まったもの、あるいは継続が決まったものです。
13	11月19日	Q17	「2013年4月末日時点の状況で回答」となっていますが、5月に申請し、8月末に採択結果が出る文科科研費の研究種目「研究活動スタート支援」の件数・金額は記入しなくていい、と理解して宜しいでしょうか。また、研究種目「新学術領域研究(新規)」は採択結果がでるのが6月ですが、その採択があったとしてもその分の記入はしない、と理解して宜しいでしょうか。	2013年度中に採択結果が通知され、2013年度内に採択金額が確定・支給されたものは全てカウントしてください。確かに年度途中に公募が有り、年度途中に研究費が配分されるものもあります。その場合には2013年度に採択され、配分額が支給されているものも含む・・・とお考えくださいご回答ください。
14	11月21日	Q17	研究費補助金等の申請件数と採択件数は昨年の調査の時の時点と同じになってしまっていますが、よろしいのでしょうか。今年の調査では、申請件数(2012年11月)、採択件数(2013年4月)の時点の状況を記入するようになっておりますが昨年の調査用紙の注2欄にも「申請年度が2012年、採択結果は2013年度～のものをご記入下さい。」となっております。同じでよろしいのか、それとも、「2013年11月申請、2014年4月採択」の件数を記入するべきなのか教えてください。	2013年度中に補助金が配分された研究が対象とお考えください。昨年度も、質問に回答しづらかった部分でした。再検討した上で、ホームページ上で記入上の注意を喚起するようにいたします。
15	11月28日	Q17	看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動について企業等による教育研究奨励費についてですが、企業からの寄付金等もこれに含まれますでしょうか。	企業からの寄付金についてですが、その資金が研究や教育に間接的にも還元されるものであれば、その他の欄にご記入ください。
16	12月2日	Q17	申請件数が2012年11月におこなったもの、採択件数が2013年4月に認められたものと回答することとなっております。昨年度、同様の調査の際回答させていただいておりますが、以下のとおり回答の指示があり、そのように回答したところです。 【昨年度の指示】申請年度が2012年、採択結果は2013年度のものに記載する。研究代表者として新規に申請したもののみ記載する。以上から、本年度の調査回答が、昨年度回答と重複すると思われるが、そのような形でのご回答でよろしいでしょうか。	昨年度の指示がわかりにくかったものと思われま。昨年度はこの件につき、一部データ修正をした経緯がございます。わかりやすく表現すると、2013年度(2013年4月から2014年3月まで)に配分金が分配された研究についてご回答ください。
17	12月2日	Q18	公開講座実施について、講座企画は学部が行い、講座主催自体は、運営を支援する「地域連携センター」が主催との形をとっております。調査設問は、「学部・学科、大学院が主催」のものとなっておりますが、本学教員が企画立案した講座も含め回答することは可能でしょうか。	看護系教員が企画立案したものであれば是非カウントをお願いします。
18	12月4日	Q18	開講座について記載する項目があるのですが、講座のテーマの記載欄が12件までなのですが、本学の場合14件ありました。このエクセルファイルで行を増やすことはできないようですが、どのように記載いたしますでしょうか。	最後のQ23のご意見、要望欄に、「公開講座の追加分」とご記入いただき、ご回答をお願いいたします。
19	12月10日	Q18	本学では、一般市民を対象に、夏季大学講座を実施しています(全体では50講座程度開講)。2013年度と同講座では、7人の看護学部教員が「健康長寿を目指して、豊かな老いを生きるために」「在宅ケアの現状と課題ー最後まで家で過ごすためにー」「認知症の人の理解と関わり」等々のテーマで、講座を担当しました。1つの講座の講義時間は、180分です。Q18の公開講座については、学部が主催したものが対象のようですが、上記の講座を「A.一般市民向け公開講座」に含むことはできるでしょうか？	看護系教員が企画運営に携わり、かつテーマが明文化され、そのテーマの大半を看護系教員が行っているものを対象としてご回答ください。ご提示のタイトルを拝見すると、ご提示の講座は該当しているものと思われるので、ご記入のこと、よろしく願いいたします。

# 2013年度看護系大学の教育等に関する実態調査

No.	日付	設問	質問内容	回答
20	12月2日	Q19	看護学部・学科、大学院の留学生の受け入れ人数とのことですが、「留学」について、期間等のしてはございますでしょうか。本学では昨年度、協定校の学生を2週間看護学部で受け入れております。期間は2週間と短いものとなっておりますが、以上について実績として記入する必要はございますでしょうか。	期間は問いません。この件に関しても期間の長短にかかわらずご回答をお願いします。
21	11月10日	Q20	評価等は実施していますが、どのように回答したらよいでしょうか。	実施されて結果の評価がなされていないので、実施の妥当性についての検討はこれからということで、「確立されていない」という選択肢でお願いします。
22	12月10日	Q20	Q20のB.学生の授業評価を実施していますか。という問いに関してですが、これは大学、または大学の設置した委員会での実施は含まず、看護学部独自で行ったかどうかをお答えすればよろしいでしょうか。	看護学部独自ではなくて、大学全体としても含め、看護学部が行っているかどうかでご回答ください。
23	11月19日	Q22	Q22のE「教員の短期海外派遣」の人数について、「国際学会への参加は除く」と記載がありました。下記の内容についてはカウントするのかどうかご教示いただけますでしょうか。 ①研究調査②海外研修(単位取得なし)への引率や下見	教員の海外派遣ですので、相手先(受け入れ先)が明確で、個人の都合ではなくて、公的に教員の研修等で派遣されたものが対象です。研究の調査、海外研修の引率などは含まれないものとご判断ください。長期派遣も同じです。
24	12月17日	Q22	「D」の留学生の受け入れですが、これは「C」と同様に単位が取得できるものと考えて短期の学生のみでカウントしてよろしいのでしょうか？入学試験をして入学した学生は学位取得となるため、この数はカウントしていないのですが、外国籍の学生はすべて留学生とするのでしょうか？	広い意味で捉えてください。つまり、入学試験を受けて入学した学生も留学生として考えてください。短期留学生ももちろん含んでください。単位修得に関わること国際交流に関してすべてカウントをお願いします。
25	12月2日	Q22-C、D、G	(C. 看護系の学部・学科、大学院の在学生の留学先～) 本学には授業科目の中に海外研修(2週間程度)を含むものがございます。「研修の事前準備」、「現地研修」、「研修報告」が科目内容となり単位取得ができるものとなります。このような海外での短期研修は該当するのでしょうか。  (D. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣～) 前項Cで記載しております海外研修に同行する教員が該当するかと思います。加えて事務職員も引率者として同行しますが、人数にカウントするのでしょうか。  (G. 海外からの学生以外の受け入れ～) 海外の大学等からの要望で教員向けに1週間程度の研修(医療施設の見学等)を受け入れることがありますが、本件該当するのでしょうか。	該当するものとしてカウントください。  同行する事務職員はカウントしないでください。  該当しますので、ご記入ください。
26	1月5日	Q22	Q22のC. 看護系の学部・学科、大学院の在学生の留学先～についてですが、本学には授業科目の中に、夏期アメリカ研修(2週間程度)を含むものがございますが、昨年度の調査の際に前任者が問い合わせたところ「該当しない」というお返事をいただきました。そこで今回も「該当しない」として回答するつもりでしたが、配信メールにあった「質問と回答集」を見ていたところ、Q25の質問内容が本学の授業のものと類似しておりまして、その回答が「該当する」となっていたため、改めて質問させていただきます。  本学の授業内容は「研修の事前学習」、「海外研修」、「レポート提出」となっており、海外研修は夏季休業中に行います。内容は、語学研修やアメリカの大学、病院、施設などの見学、ホームステイによる家庭生活体験とホストファミリーとの交流などです。今回、この海外研修を「該当する」としてよろしいでしょうか。また、該当する場合は、引率教員を「教員の短期海外派遣に該当する」としてもよろしいでしょうか。	ご質問の件ですが、Q&Aにありますように、該当する事例と考えます。ご記入ください。
27	1月6日	Q22	「教員の海外派遣」についてですが、海外派遣とはどのような場合をいうのでしょうか？学会等での海外出張は該当しないのでしょうか？	学会参加は含めません。あくまで海外で実施される研修事業や、研究の遂行を目的とした教員のキャリアアップに関わる事項に限らせていただいています。

## 2013年度看護系大学の教育等に関する実態調査

No.	日付	設問	質問内容	回答
28	11月18日	Q22-E	研究目的の出張回数(国際学会参加を除く)を報告するという解釈でよろしいでしょうか。	学会参加は除き、研究目的で「短期海外派遣」をされた先生の人数をご記入ください。
29	12月5日	Q22-E	「教員の短期海外派遣」の人数につきまして、Q&Aで「相手先が明確で、個人の都合ではなくて、公的に教員の研修等で派遣されたものが対象」との内容を確認いたしました。海外大学等の提携可能性を模索するため、海外大学に視察に行ったケースは、「研修等」に該当すると考えてよろしいでしょうか。(相手先は明確で、個人の都合ではなく、公的に派遣しております)	あくまでも、教員が海外で研修を受けるために公的に派遣されたもののみとご理解ください。視察は範疇外としてご回答いただくよう、よろしくお願いいたします。
30	11月17日	設問外	本学には「〇〇〇学部」と「△△△学部」2学部に見護学科が存在します。それぞれに大学コードを持っておりますが、回答する際は別々の回答なのか、あるいは合わせた回答を行うのか、どちらがよろしいでしょうか。	コードが異なるので、別個の組織として回答をお願いします
31	12月4日	設問外	看護系大学の教育等に関する実態調査(データベース)内容のご確認ですが、2014年5月ではなく、2013年5月の状態を調査するのですか?	日本看護系大学協議会では、これまで調査時点年度の、前年度実績(つまり今回は2013年度)について調査しています。現在進行中の2014年度は、年度が終了していないので来年度の調査対象項目となります。ご理解ください。また、2013年5月の時点に期間を限定している件ですが、当該年度にスタートした構成員を把握するため、これまでも同じように行ってきたものです。2014年5月ですと、2014年度の構成員となりますので、遡って2013年度分の調査をお願いすることになります。
32	12月5日	設問外	回答先のURLを教えてくださいませんか。	調査票をダウンロードするページと同じ画面上に「メール用調査票送信フォーム」ボタンがございます。そこから提出してください。提出方法がわからない場合は、弊会事務局のメールアドレスに送信してください。
33	12月5日	設問外	表記調査に関しまして、本学科は2014年度に開学しましたので、回答することができません。	回答不可能な部分は全て空欄にして大学コードや大学名など、基本情報のみご記入いただきご提出ください。